

『持ち帰り一人一台パソコンのルール』について

学習をより楽しく、ゆたかにするために、一人一台のパソコンを上手に使うことが大切です。一人一台パソコンで、家でも学校と同じ学習ができると、お家での勉強、休校などのときに、とても役立ちます。しかし、上手に使えばたいへん便利な道具ですが、良くない使い方をすると自分やまわりの人たちにも大変なめいわくをかけることになります。

上手に使うための、『持ち帰り一人一台パソコンのルール』を定めました。みなさんでこのルールを守り、一人一台パソコンを上手に使いこなしていきましょう。

1. つかうめあて

- ・学校の一人一台パソコンは、学習のために使います。



2. 持ち帰る場面

- ・帰りの会の前にシャットダウンし、パソコン用の持ち帰りバッグに入れます。
- ・持ち帰りバッグをランドセルの中に入れるときには重いものを上にのせません。
- ・登下校中は、ランドセルの中に入れます。手で持って帰りません。
- ・落としてこわしたり、水にぬらしたり、なくしたり、ぬすまれたりしないように気をつけます。

3. つかうときに

- ・自分の家の中だけで使用します。
- ・一人一台パソコンを使った後には、画面をきれいな布などでふきましょう。
- ・パソコンには、下のようなものを近づけないようにします。

水分 (ペットボトルなど、ふた付きを含む) あついもの (太陽の光をふくむ)

とがったもの (えん筆やペンなど) 磁石



4. おきばしょ

- ・使用しない時間は、家の人の目の届くところにおいておきます。
- ・床に置いたままにはしません。

5. 健康のために

- ・一人一台パソコンをつかうときは、正しいしせいで、目を近づけすぎないように気をつけます。
- ・30分に1回は遠くを見るなど、目を休めます。
- ・使う時間や使う場所は家人とよく話し合って決めます。長い時間にならないようにします。
- ・寝る30分前は使いません。

6. きけんなサイトやページに注意

- ・インターネットには制限がかけられ、つかい方は記録されています。
あやしいホームページなどに入ってしまったときは、
すぐに画面を閉じ、家の人に知らせます。



7. 自分やまわりの人を守るために（個人情報）

- ・一人一台パソコンを使ってよいのは自分だけとします。かしかりはしません。
- ・パソコンやネットをつかうためのアカウントは、一人一人にくばられたものです。自分だけの大切な情報なので、他の人に知られないよう、一人一人が大切にとっておくようにします。
- ・インターネットの世界でも、マナーやルールをまもります。
- ・インターネットを使って、他人に次のことを、教えたり書きこんだりしません。

自分や他人の個人情報（名前や住所、電話番号など） 顔写真 パスワードやID

8. カメラでとるとき

- ・カメラで人をとるときは、かつてにとりません。その人のゆるしをかならずもらいましょう。

9. データののこしかた

- ・パソコンで作ったデータやインターネットからもらったデータ（写真や動画など）は、自分のパソコンにだけ保存します。

10. 設定をかえないこと

- ・先生や修理する人がわからなくなるので、デスクトップのアイコンのならび方や、かべ紙の画像、色などのパソコンのさいしょの設定をかえません。



11. こまったとき

- ・学校の外でパソコンがこわれたりなくしたりしたら、学校に電話します。
(土日・祝日除く)

※ その理由によっては、修理代を負担していただく場合があります。

12. つかえなくなるとき

- ・『持ち帰り一人一台パソコンのルール』が守れないときは、パソコンを利用できなくなります。そのことを理解したうえで、使いましょう。